

# 平成23年度秋田県土地改良事業推進大会

## T P P 反対、大会決議に追加!!



11月2日(水)、第134回秋田県種苗交換会の協賛行事として、水土里ネット秋田(高貝久遠会長)が主催する「平成23年度秋田県土地改良事業推進大会」が、横手市民会館(横手市)において会員及び関係者など約1,200名が出席し、来賓として三浦庄助県農林水産部長(佐竹知事の代理)、五十嵐忠悦横手市長、川口博衆議院議員、金田勝年衆議院議員ほか関係者をご臨席のもとに開催された。

大会は、高貝会長が「平成24年度農業農村整備予算の概算要求は、22年度当初予算とほぼ同額になっている一方で、全閣僚で構成する『食と農林漁業の再生推進本部』では、今後5年間で農地の1経営体あたり耕作面積を20~30haに拡大する農地の大規模化を進めるという『再生戦略』が示された。我が国の食料安定供給に貢献している本県にとっては、足腰の強い地域農業へのステップアップが必要であり、そのためにも再生戦略に基づいた具体的施策の早期実現が必要となってくる」と開会の挨拶を述べた。その後、本県の土地改良事業に功績のあった2団体及び8個人の表彰が行われた。

また、議事では、事務局側が「T P P 交渉への参加問題とは切り離し、農業の構造改革のため、ほ場の大区画化につながる農地整備を推進する」などの5項目の大会決議を読み上げたところ、出席の会員から「T P P 反対と明記してほしい」と緊急動議が出された。これを受け、高貝会長が「T P P 交渉参加については断固反対する」との項目を決議案に追加し、満場一致で採択された。



大会で表彰された団体及び個人は、次のとおり。

● **土地改良功勞表彰 【知事表彰】**

〔団体〕— 男鹿東部土地改良区(鈴木清理事長)、本荘東由利土地改良区(小松忠彦理事長)

〔個人〕— 三澤敏行(北秋田市綴子土地改良区理事長)、山田明(にかほ市土地改良区前理事長)、成田良子(大館市土地改良区元囑託職員)

● **土地改良功績者表彰 【会長表彰】**

牧野秀孝(三種町浜口土地改良区理事長)、米谷正明(男鹿東部土地改良区理事)、田口美智子(由利本荘市子吉土地改良区会計主任)、菅原哲男(大仙市神宮寺松倉堰土地改良区理事)、小松田正勝(阿気土地改良区理事)

● **21世紀土地改良区創造運動表彰**

【知事表彰】 にかほ市土地改良区(水土里ネットにかほ) 理事長 伊藤盛雄

【奨励賞】 男鹿市北浦一ノ目潟土地改良区(水土里ネット一ノ目潟) 理事長 戸嶋幸三

## 大 会 決 議

今、国が農政を大きく転換したことに伴い、農業農村整備は事業の廃止や予算の大幅削減などにより、極めて厳しい状況にある。

一方、農業・農村は、古来から、安心・安全な食料の安定供給によって、国民の「いのち」を守るとともに、豊かな自然、美しい景観の保全、貴重な地域文化の継承など、国民生活に欠くことのできない多面的な役割を果たしている。

農業・農村がこうした役割を担い続けるには、その基礎的資源としての「農地」、「水」が適切に整備保全されることが重要である。

また、先人達が、たゆまぬ努力と創意工夫によって、守り育ててきた「水」、「土」、「里」を、より優れた形で次世代に引き継いでゆくことは、我々に課せられた重要な責務でもある。

ついては、21世紀を着実に歩み、新たな時代に重要な使命と期待を担う農業農村の振興のため、我々土地改良関係者は総力を結集して下記事項の実現を図ることを本大会の名において決議し、関係機関に強く要望して行く。

### 記

- 1、「食と農林漁業の再生推進本部」が決定した、「我が国の農林漁業再生の基本方針・行動計画」を実施するためには、農地集積を加速するほ場の大区画化や、農地の汎用化等に直結する農地整備を、緊急かつ加速的に展開することが不可欠であり、日本農業の構造改革を進める施策として着実に推進すること
- 1、農村がもつ多面的な機能の発揮に欠くことのできない、農地や農業水利施設の整備、並びに農村の振興に必要な施策の実現に向けて、十分な予算を確保すること
- 1、農業生産の基盤である農業水利施設について、計画的な更新と適切な保全管理を推進すること
- 1、東日本大震災を教訓にして、災害に強い農業・農村を構築するため、防災・減災対策を推進すること
- 1、国民共有の財産である「水」、「土」、「里」を地域ぐるみで保全するとともに、土地改良施設の長寿命化に繋がる「農地・水保全管理支払交付金」制度を、平成24年度以降も恒久化し、一層推進すること
- 1、TPP交渉参加については、断固反対する

平成23年11月2日

秋田県土地改良事業推進大会

## 3.11東日本大震災復興支援 水土里のつどい

# 第34回全国土地改良大会inみやぎ



10月20日、宮城県仙台市「国際センター」において、「3.11東日本大震災復興支援 水土里のつどい～第34回全国土地改良大会inみやぎ～」が開催され、大会テーマ「復興へ 土地改良の底力を！ 頑張ろう東北、頑張ろう日本」の下、全国から約1,500名の土地改良関係者が参集した。

今年の大会は、大震災の影響を受け、一時、中止とされていたが、復興を願う水土里ネットみやぎの尽力により、例年より規模を縮小して開催された。

今回の集いは、3.11東日本大震災により未曾有の被害を被った東北を始め、東日本地域の水土里ネット及びその会員と、全国の水土里ネット仲間が情報と意識を共有し、早期の復旧・復興に一体となり取り組むとともに、防災対策を含めた今後の農業農村整備事業の更なる推進を確認する場となった。また式典に先立ち、大震災により亡くなられた方々に哀悼の意を表し黙祷を行った。

なお、今回行われた「土地改良事業功績者表彰」の本県関係者は、次のとおりである。

### 【農林水産省農村振興局長表彰】

高貝久遠（秋田県田沢疏水土地改良区理事長、本会会長）

### 【全国土地改良事業団体連合会長表彰】

藤井弘道（秋田県南旭川水系土地改良区理事長、本会監事）



## TPP交渉参加断固阻止

### 秋田県代表者集会が開催される！



10月20日（木）、秋田県児童会館で、TPP（環太平洋連携協定）参加に反対する秋田県農業協同組合中央会や秋田県農業会議など、本会を含む20団体で構成する「食料・農業・環境を守る県民会議」主催による、TPP交渉参加断固阻止秋田県代表者集会

が700人の参加を得て開催された。

主催者を代表して秋田県農業協同組合中央会の木村一男会長は「緑豊かな秋田の自然と歴史、文化を後世に伝えるのは、われわれ県民の役割。TPP参加は必ずや将来に禍根を残す」と声を張り上げた。

その後、全国農業協同組合中央会の馬場利彦参事がTPPを巡る情勢を説明。秋田県漁業協同組合の代表者ら4氏が決意表明を行い、TPP参加阻止を訴える集会決議を、おものがわ土地改良区渡邊聡之理事長が朗読、満場一致で採択された。



### 東京都「両国国技館」では

## 「TPPから日本の食と暮らし・いのちを守る国民集会」が開催される！

11月8日（火）、両国国技館に農林漁業者をはじめ全国から6,000人が参加、TPP交渉参加断固阻止に向けての集会アピールを採択した。



# 平成23年度 土地改良関係団体役職員講習会を 県内10会場で開催!!

平成23年度土地改良関係団体役職員講習会が、11月10日の「鹿角、大館・北秋田支部職員講習会」を皮切りに、12月7日までの約1ヶ月間にわたり県内10会場で実施され、延べ842名の関係者が参加し、盛会裡に終了することができた。



今年度は、「維持管理計画書変更に係わる手続きについて」、「農業用施設賠償責任保険及び団体傷害保険に係わる最新情報について」を共通テーマとして実施され、「維持管理計画書変更に係わる手続きについて」では、各地域振興局の担当者から、「維持管理計画書の重要性」と“今年度から簡素化された変更手続き”を主とした説明があり、さらに、会員からの強い要望によりテーマとなった「農業用施設賠償責任保険及び団体傷害保険に係わる最新情報について」では、三井住友海上火災保険(株)の県内代理店2社から、“事例別の補償例”等に



ついて詳しい説明があった。

また、平鹿支部では、東北農政局平鹿平野農業水利事業所の大澤賢修所長に「道具」と題したご講演をお願いした他、各支部別の個別テーマによる講演等も行われ、参加者は農業情勢に対する対応や今後の地域振興に役立てようと、熱心に講義・講演を聴き入っていた。

なお、今年度の各支部の日程及び個別講演は次のとおり。

## ■各支部の日程及び主な個別テーマ(敬称略)

鹿角、大館・北秋田(役員)	11月17日	企業的経営の新たなる挑戦 ～戦略的経営と地域共生型経営の融合～	有限会社アグリ川田 代表取締役 川田 慶
鹿角、大館・北秋田(職員)	11月10日	土地改良区職員の果たす役割	水土里ネット秋田 常務理事 水戸憲光
山本(役職員)	11月14日	農業法人からの事例報告	農事組合法人坊沢宮農組合 代表理事 長崎克彦
秋田(役員)	11月24日 ～25日	滞納処分について	木元法律事務所 弁護士 木元慎一
秋田(職員)	12月2日	複式簿記について	秋田経理情報専門学校 教務部副部長 後藤雅子
由利(役職員)	11月21日 ～22日	地域農業に於けるJAと土地改良区 の役割について	秋田しんせい農業協同組合 代表理事組合長 畠山勝一
仙北(役員)	11月16日 ～17日	今後の農業農村整備事業について	県農林水産部 参事(兼)農地整備課長 難波和聡
仙北(職員)	12月6日 ～7日	地力活用術	グリーンツーリズム西木研究会 副会長 門脇砂絵美
平鹿(役職員)	11月10日	道具	東北農政局平鹿平野農業水利事業所 所長 大澤賢修
雄勝(役職員)	11月11日	農地・水・保管理支払交付第2期 対策について	県雄勝地域振興局農林部農村整備課 副主幹 釜台和則